



DH SYSTEM
大日本塗料株式会社

商品番号 4 1 1 1

サビシャット

1. 一般名 塗布形素地調整軽減剤
2. 規格 社内規格
3. 特徴
 - 1) 防食性にすぐれている。
 - 2) さび層への含浸・強化性にすぐれている。
 - 3) 素地調整工程が軽減できる。
 - 4) NETIS登録番号：KT-060143-VE

4. 性状

項 目		内 容		
容姿		2 液性		
荷姿		2.4 kg $\times$ 2 (A 液 : 2.0 kg、B 液 : 0.4 kg) 6.0 kg $\times$ 2 (A 液 : 5.0 kg、B 液 : 1.0 kg)		
色相		乳褐色		
光沢		—		
密度 (23℃)	塗料	1.08		
	揮発分	0.87		
粘度 (23℃)		55mPa・s		
加熱残分		55%		
乾燥時間	温度	5℃	20℃	30℃
	指触	2 時間	1.5 時間	1 時間
	半硬化	5 時間	3 時間	2 時間
標準膜厚		—		
引火点		S D S 参照		
発火点		S D S 参照		
爆発限界(下限~上限)		S D S 参照		

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

6. 使用上の注意

- (1) 被塗面の塩分、油脂、湿気、塵埃、水分その他の有害な付着物は完全に除去する。付着力のない浮きさびはマジクロン等で除去する。この際、1点式電磁膜厚計を用いて、30 cm $\times$ 30 cmの範囲のさび層の厚みを9点測定し、その最大値が100 μ mを越える場合はディスクサンダー等を併用して100 μ m以下にする。
- (2) 使用時には、A液とB液を規定の割合に混合し、十分に攪拌して均一な状態にしてから塗布すること。
- (3) A液とB液を混合した後は、可使時間以内に使い尽くすこと。
- (4) 塗装間隔が長くなると密着不良を生ずることがあるので必ず規定時間以内で塗り重ねを終了すること。尚、規定時間以上経過した場合は、塗布表面をサンドペーパー或いはパワーブラシ等にて研磨し、さらにウェスで拭いて調整してから再塗布すること。
- (5) 塗布作業終了後は塗布器具を直ちに洗浄すること。洗浄には必ずウレタンシンナーまたはラッカーシンナーを使用すること。
- (6) 塗布後短時間以内に雨に当たると塗面が白変する恐れがあるので注意のこと。
- (7) 高湿度(85%RH 以上)の時の塗布作業は避けて下さい。可使時間が短くなったり、塗布面が発泡することがある。

5. 塗布基準

項 目		内 容		
素地調整		「6. 使用上の注意（1）」参照		
混合割合		A液：10 部、B液：2 部(重量比)		
可使時間		5℃	20℃	30℃
		9 時間	5 時間	3 時間
洗浄シンナー		ウレタンシンナー、ラッカーシンナー		
塗 装 法	塗布方法	刷毛塗り、ローラー塗り		
	希釈率	—		
	標準使用量	0.10 kg/m ²		
	標準膜厚	—		
	ウェット管理膜厚	—		
塗装間隔	温度	5℃	20℃	30℃
	最小	5 時間	3 時間	2 時間
	最大	3 日	3 日	3 日

注) 標準使用量は被塗物の形状や塗装条件によって異なる。

7. 関連法則

	A 液	B 液
危険物表示	第4類第2石油類	第4類第2石油類
有機溶剤区分	第3種有機溶剤含有物	第3種有機溶剤含有物
有害物質表示	SDS参照	SDS参照
劇物表示	—	—

8. 使用上の注意【警告】

- (1) 安全情報に関する内容は、SDSをご参照下さい。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。